



こんにちは 日本共産党

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1（清水事務所）

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

自治会補助金に関するアンケート結果

選択肢をなくしても「現状維持」「増額」意見多数

日野市が自治会に行ったアンケート調査、自治会補助金に関する回答は「①加入世帯数に対して自治会補助金を交付する」が74件で最多となりました。次は「⑤その他」の58件で「現状維持」「増額希望」といった意見が数多くありました。

そもそも、このアンケートの回答欄の選択肢は、①加入世帯数に対して交付、②加入世帯数にかかわらず一律交付、③自治会区域内の全世帯数に対して交付するが、交付額に上限を設ける、④自治会区域内の全

世帯数に交付するが、世帯当たりの金額を減額する、⑤その他、以上5項目で、①～④のどれを選んでも世帯数の多い自治会では補助金の大幅な減額となるという設問でした。

そうしたなか、あえて「その他」を選び、現状維持や増額を希望した自治会が多数あったということは、最初から選択肢に「現状維持」や「増額」を入れていたら、そちらの方が一番になった可能性もうかがわせます。

自治会補助金の見直しは第5次行革の一環

日野市の第5次行革では、「歳出削減」の一つとして自治会補助金の見直しを掲げています。

実施計画には、「制度が発足したS57年当時からの経緯や現在の状況を調べ、時世に合った補助金制度となっているかを検討する」、「自治会加入者数、自治会加入率の向上に資する制度とするため、自治会加入率が7割を超えていた時代の補助金制度を、自治会の現状と今後 に合った補助金制度へと見直す」との方向が示されています。

そして実施時期については、2019年度に調査・検証、2020年度に「制度変更の内容及び変更要否の判断」となっています。

こうした計画に基づいて今回の自治会アンケートに「自治会補助金」の項目が入れたものと考えられます。



「自治会補助金が活動に役立っている」 9割

アンケートでは、自治会が抱える課題として「自治会員の高齢化」「役員のみなり手がない」「役員の負担が大きい」とともに、「加入者が減っている」という答えも多く出ています。

自治会活動として取り組まれている活動としては「地域清掃」「防災活動」「(お祭りなど)親睦活動」が多く挙げられています。

今後取り組みたい活動として「高齢者の見守り活動」「防災活動」が多数ありました。

自治会活動を活性化するための工夫としては「清掃活動等の際に親睦会や参加賞配布など「楽しみ」をプラスする、積極的にあいさつや声掛けをするなど、コミュニティづくりが挙げられています。

こうした回答から、役員さんたちの努力

で、「お祭り」や「防犯活動」など自治会に加入していない世帯も対象とした活動が行われていること、さらに、高齢者の見守りや防災活動など新しい課題にも取り組んでいきたいとの意向も明らかになりました。

このような中で自治会補助金については、「大いに寄与している」は90件、「役立っている」は87件、「わからない」11件、「役立っているとは言えない」は4件で、約9割の自治会が補助金が役に立っていると答えています。

自治会に加入する世帯が減ったことによって自治会費収入が減るなかで、市の「自治会補助金」の重要性は増しているのではないのでしょうか。

党都議団主催 **高齢者のきこえの支援を考える**

11月16日(土) 15時~17時

TKP 西新宿カンファレンスセンター

講演 慶応義塾大学耳鼻咽喉科教授 小川 郁 先生

〇お申し込みは氏名・お電話・メールをFAXで03-5388-1790へ

畑だより・・・

ブロッコリー(写真)やキャベツ、カリフラワーの苗がぐんぐん育ってきました。

大きな葉のなかをのぞきこむと
小さなブロッコリーができています

大根葉はあっという間に育ち、
また、「ほぼ大根」状態のものも多数・・・

「ほぼ大根」部分は、つぼ漬にします
これはこれで、おいしいのですが

